

切通シ沢

上五

一九八二年一〇月一〇日

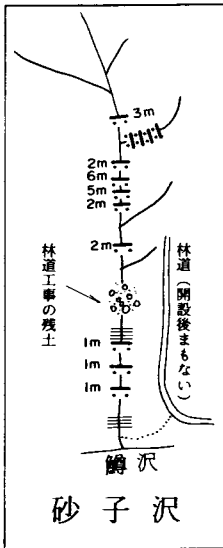
間程で今朝方出発した不動尊に着く。

稜線ぞいの林道を少し歩いて、三時、下降開始。少し下るとナメが出てくる。二ツ小屋沢と違って、少しは期待できそうだ。

まず、最初の二趾をクライミングダウン。そのあとに五趾クラスのが三本。いずれも簡単に下降でき、沢としてはそんなに印象深いものではないが、遡行してきた二

ツ小屋沢があまりにも平凡であっただけに、一応気持だけはなぐさめられた。

一五時〇五分、二ツ小屋沢出合。それから一時



砂子沢

上七

一九八五年一〇月五日

鱒沢林道ゲート手前の広場に車をデポし、林道を歩くこと三〇分で砂

子沢出合である。なお林道ゲートの所は、農道改良工事が進められており、林道上にかなりの落石が生じていた。

さて、遡行開始である。沢幅一〜二趾と、開始早々ヤブとの戦いである。滝は一趾程度のもので単発であり、半分あきらめ気分で進んでゆくと、突然目の前がひらけて、大小の